

# 会社の未来を考えよう

**事業承継**と**BCP**で続ける力を応援します  
様々な支援を活用して悩みを解決!

**相談無料**

詳細は、個別チラシを  
ご覧ください

## 01 基本的なことを知りたい

### 》 導入セミナー

事例に基づいたわかりやすく具体的な内容です。  
後継者問題、事業承継計画、M&A/ 第三者承継、  
BCP 策定に関するテーマを取り扱います。

## 02 相談する相手が欲しい

### 》 専門家派遣 2つのテーマで相談

事業承継士などの専門家が事業承継・BCPに関する個々の  
悩みをお伺いします。必要に応じて計画策定を支援します。  
※1社につき「事業承継」について3回、「事業継続・BCP」について  
3回まで相談無料です。

## 03 <事業承継> 後継者を育成したい

### 》 後継者育成講座

後継者に必要なマインドと経営全体の知識・ノウハウを、  
講義と討議を通じてお伝えします。(参加費：20,000円程度)

## 04 <事業継続> BCPを策定したい

### 》 BCP策定講座

災害などの緊急時に優先すべき重要業務を考え、対策を  
立案し、事業継続計画(BCP)の基本部分を作成します。

## 05 補助金や融資を使いたい

### 》 事業承継・事業継続力強化支援 補助金

市内中小企業者等の円滑な事業承継や、災害対応力の向上  
に向けた取組に要する経費に対し、補助金を交付します。

### 》 事業承継 特別保証資金

中小企業者の円滑な事業承継を資金調達の面から支援する  
ため、事業承継特別保証資金をご用意しています。

詳細は、川崎市の  
ホームページ・個別  
チラシをご覧ください。

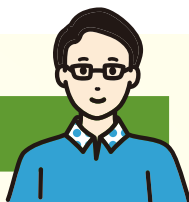


# ご利用者様の声

支援策をご活用頂いた事業者様に伺いました！

## 事業承継

シー・シー・ピー株式会社  
代表取締役社長（建築・リフォーム業）

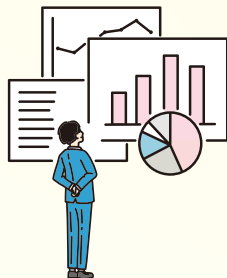


### 会社紹介

注文住宅の建築やリフォーム業で、地域に根ざし、デザイン力と技術力でお客様の夢をカタチにするお手伝いをしています。2008年に創業、2020年に社長を交代しました。

### 活用した支援：セミナー、後継者育成講座、専門家派遣

会社の舵取りをするための知識を身に付けるべくセミナーや勉強会に参加していた中で、この事業承継セミナーを紹介され参加しました。セミナーの内容自体は会社を譲る側、先代視点での講演でしたが、全くの無知であった私にとってはとても勉強になりました。そこで後継者向けの講座の紹介があり、「自分が勉強するのはこれだ」と直感し、その場で申し込みました。



### 専門家派遣で、課題解決の光が見えた

実は、受講後も自分が会社の新たな舵をとらなくてはと気負い、突っ走って仕事をする中で、職人気質の強い業種のためか人間関係で衝突することも多く、組織をどのようにまとめていけばいいのか、ずっと悩んでいました。事業承継という道を進む上で、交通整理のアドバイスが欲しくて、専門家に相談をしたところ、親身に考えて頂き、自分では気づかなかった考え方を知り、立ち止まって考えるきっかけになりました。自分の中で会社のビジョンがありますが、そこに向かうためには一人では達成できない、独りよがりでは駄目ですね。現場仕事が多いのですが、積極的に従業員との対話を持つように意識し、月に一度、全員で顔を合わせる時間をとるようにしています。

### 後継者育成講座を受講して、大きく変化

講座は休まず参加しました。全てのテーマが面白いです。特に決算書を経営者の視点で読めるようになったのは大きいです。それまでは、現場で懸命に仕事をすれば自然と利益はあがるものと考えていましたが、講義で損益分岐点を学び、グループワークを通じ当社の利益の源泉は何か、数字はどうなっているのか、経営者の視点で考える機会になりました。経営者の覚悟など気持ちの部分でも、丸山講師の話は説得力があり、講座で学んだことは、今の自分の礎になっています。

### 同じ悩みを持つ仲間の存在

長引くコロナの影響や資材高騰で厳しい環境ですが、今後、試行錯誤してきたことを本格化させたいです。今のお客様を大切にしながら、当社の強みを活かせるリフォーム事業の分野にもっとチャレンジします。経営者として試練の連続ですが、苦しいと感じた時に、一緒に学んだ仲間と繋がっていることは、大変ありがたいです。皆の元気な顔を見るだけで、プレッシャーやモヤモヤが吹き飛びます。経営者は孤独なので、業種は違いますが共通の立場で互いに励ましあったり、思いを共有できる仲間が同じ地域にいるのは素晴らしいです！

## BCP 策定／事業継続力強化計画認定

製造業 K 社 代表取締役社長



### BCP策定のきっかけ

当社は石油化学製品の製造業で、以前からBCP策定に関心がありました。東日本大震災後に、国の策定マニュアルを参考に自前で作成したBCPは、実際の活用までは至らず、ずっと気になってBCPという言葉を中心に留めていたところ、川崎市のセミナーを知り、参加しました。

### 活用した支援：セミナー、BCP策定講座、専門家派遣、補助金

最初から、当社のBCPを作るつもりでセミナーに参加し、個別相談も受けました。また、川崎市ではBCP策定の補助金があることを知り、本格的に取り組んで、当社にとって本当に使えるBCPを策定しようと決めました。BCP策定講座へも参加し、ハザードマップを確認したり、フォーマットを使って実際に書き込む体験もしました。その時に、BCPは、会社としてプロジェクトを立ち上げて策定するには、非常に良いテーマだと気づきました。当社の従業員は約50名で、ISO取得もそうですが、品質管理や安全管理など、全員参加での取り組みを大切にしています。BCPこそ皆で取り組むことで、災害などの緊急事態時に、その力が発揮されると感じ、市の専門家派遣を活用して、プロジェクトとしての進め方を相談しました。

### チームで取り組んだ副次的効果

プロジェクトは若手から管理職の幅広い人員構成で、約半年の期間をかけました。普段の決定事項は管理職でほとんど決まりますが、BCPは現場の従業員に参加してもらったことで、何をやってるのが社内全体に広まったのが良かったです。毎回、専門家に来ていただきアドバイスを受けながら、会社の重要業務は何か、それを守るためにはどのような対策が必要かなど、若手や管理職で話し合ったり、具体的に各現場に必要な対策などを紙に書き出しました。普段、若手の口からはなかなか言えないことを、紙に書くことで意見を出せる、大変良い機会になりました。



### 継続して取り組むことの重要性

無事にBCPを策定し、その後、事業継続力強化計画も認定されました。策定後は、プロジェクトチームの規模を縮小しますが、絵にかいた餅にならないよう、毎月1回集まって、対策・訓練をしようというスタートをきりました。継続して取り組むという点でもBCPは良いテーマです。対外的にも、当社はBCPを策定しているということを報告できるので、信頼関係にもつながると感じています。市の補助金を活用できコスト的にもありがたいですが、それ以上に、セミナーや講座、専門家派遣など、市のお膳立てで背中を押して頂き、その結果、プロジェクトとして形となり、社内コミュニケーションの向上や従業員が自律的に取り組む動きにもつながったことにも感謝しています。